

6. まとめ

現時点で想定している施設の概要は次のようになります。

- ① 規 模 5 5 m × 5 5 m
- ② 建 設 費 今後設計を行わなければ確定できませんが、同規模の宮崎県内の施設で約 10 億円要しています。(国土交通省の社会資本整備総合交付金を財源として充てる(事業費の 1/2)ことを検討しています。)
- ③ 年間運営費 今後算定を行わなければ確定できませんが、同規模の宮崎県内の施設では約 1 千万円要しています。
- ④ そ の 他 仮に現在想定している以上の大きさの施設を整備することになると、次のような課題があります。
 - ア) 整備費の増・・・他市の施設等を参考に試算すると、例えば 6 0 m × 6 0 m の規模で 1 2 億円、6 5 m × 6 5 m の場合は 1 4 億円とそれぞれ 2 億円、4 億円の事業費増が見込まれます。
 - イ) 運営費の増・・・他市の施設等を参考に試算すると、例えば 6 0 m × 6 0 m の規模で 1 千 2 百万円、6 5 m × 6 5 m の場合は 1 千 4 百万円とそれぞれ 2 百万円、4 百万円の運営費増が見込まれます。
 - ウ) そ の 他・・・現在の整備以上の規模にすると、5 0 m プールを廃止しなければならなくなり、水泳競技の振興等に大きな支障が生じると考えられます。